

長野工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	国語 I A
科目基礎情報					
科目番号	0003	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	①教科書:『新 高等学校国語総合』明治書院, ②『新版四訂カラー版 新国語便覧』第一学習社, ③『LT現代文1』浜島書店, ④『話す・聞くの実践トレーニング』明治書院, ⑤『新入試評論文読解のキーワード300 改訂版』明治書院, ⑥『常用漢字ダブルクリア三訂版』尚文出版, ⑦国語辞典(新たに購入する必要はない。中学校で使用したものでよい。電子辞書でも可)。*①②は国語 I B と共通。				
担当教員	曾田 友紀子				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・平易な論理的文章の構成や要旨をおおむね理解できる。 ・平易な小説の主題をおおむね理解でき、登場人物の心情やものの見方を、表現に即して読むことができる。 ・平易な韻文について、その主題や作品に即したイメージをおおむね理解することができる。 ・基本的な漢字や言葉の意味をおおむね理解できる。 以上を満足することで、A-1 に到達する初歩的段階の達成と認定する。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
論理的文章の理解	論理的文章の論理の展開をおおよそ理解し、要旨をほぼ把握することができる。	論理的文章の文意をおおよそ理解することができる。	論理的文章が理解できない。		
文学的文章の理解	文学的文章について、書き手の意図をおおよそ理解することができる。	文学的文章の場面や情景を想像でき、登場人物の心情をおおよそ理解することができる。	文学的文章が理解できない。		
語彙力	自らの語彙を知的好奇心をもって増やすことができる。	基本的な語彙がおおよそ理解できる。	基本的な語彙力がない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会への対応が希求され、進展する情報化社会の中において、国語としての日本語について理解と表現力を育む。 ・現代の論理的文章を学習することを通して、理解力の基礎を養うとともに、語彙や表記法など国語に関する基本的な知識を身につける。 ・近現代の文学作品を読むことを通して、表現に即した鑑賞ができる基礎を養うとともに、語彙を豊かにし、表現力の涵養に努める。 				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とそれについての課題を課す。 ・課題は期限に遅れず提出すること。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <成績評価> 試験(80%)および課題など(20%)の合計100点満点で(A-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー> 放課後 16:00 ~ 17:00, 一般科棟3階。この時間にとらわれず必要に応じて入室可。 <先修科目・後修科目> 後修科目は国語II。 <備考> 意見や感想の表明などは、授業や提出物などで行う。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業を受けるにあたって必要な事柄を、理解する。	
		2週	評論 1	論理的文章の読解の基礎を理解することができる。	
		3週			
		4週	評論 2	論理的文章の基本的構成と展開を理解することができる。	
		5週			
		6週			
		7週			
		8週	これまでの理解度の確認。	これまでの学習内容について理解できている。	
	2ndQ	9週	小説 1	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現から人物や情景を思い浮かべることができる。 ・作品の構成や展開から主題を考えることができる。 	
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週	短歌	主題や作品に即したイメージを理解することができる。	
		16週	前期末達成度試験		
後期	3rdQ	1週	評論 3	論旨を客観的に理解し、要約することができる。	
		2週			
		3週			
		4週	意見文を書く	これまで学習した論理的文章をもとに、意見文を書くことができる。	

		5週		
		6週		
		7週		
		8週	これまでの理解度の確認.	これまでの学習内容について理解できている.
	4thQ	9週	表現 1	原稿用紙の正しい使い方が理解できる.
		10週	表現 2	正確でわかりやすい文章を書く基本を理解することができる.
		11週	短歌	主題や作品に即したイメージを理解することができる.
		12週	小説 2	人物, 情景, 心情などを表現に即して理解することができる.
		13週		
		14週		
15週				
16週	学年末達成度試験			

評価割合

	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	100
配点	70	0	0	0	30	100